

九州地方の火山活動解説資料（平成 14 年 7 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方の火山



：桜島

桜島南岳の火山活動は比較的静穏で、7月の噴火回数は1回(爆発)でした。

：薩摩硫黄島

時々、火山灰を含む灰色の噴煙が観測されました。

：諏訪之瀬島

やや活発な火山活動が続いています。爆発的噴火が24日の一日で7回、合計11回発生しました。

：阿蘇山

中岳第一火口は、22日に311を観測するなど南側火口壁の温度が高い状態が続っていますが、火口内は全面湯だまりが続いており、火山活動に特段の活発化はみられてい

ません。

：霧島山

22日と26日に御鉢付近が震源と推定される微小な火山性微動を観測しました。22日の微動発生直後には火山性地震がやや多く発生しました。噴気活動や地殻変動には変化ありません。

：九重山、雲仙岳、口永良部島

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
霧島山	火山観測情報2号	23日11時40分	御鉢付近で火山性微動を観測
諏訪之瀬島	火山観測情報7号	25日11時00分	火山活動活発化

次回の火山活動解説資料の公表は9月6日(金)の予定です。